

第1学年選択 国語科学習指導略案

1 コース名 「レッツ・スピーチ」【発展学習コース】

単元 「テーマを見つけてスピーチをしよう」

2 コースの目標

自分でテーマを探し、テーマに沿った情報を集め、分かりやすく伝えようとする。

指導事項

第一学年 「A 話すこと・聞くこと」

ア 自分の考えや気持ちを相手に理解してもらえるように話したり、話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取ったりすること。

イ 自分の考えや気持ちを的確に話すためにふさわしい話題を選び出すこと。

第一学年 「言語事項」

(1) ア 話す速度や音量，言葉の調子や間のととり方などに注意すること。

(1) カ 話し言葉と書き言葉との違いについて理解し，適切に使うこと。

3 単元の指導計画 (17時間)

配時	学習活動・内容	留意点	観点：評価規準 ＜評価の方法＞
3	1 よりよい話し方・聞き方について学ぶ。 ・話す時の心構え ・話す時の姿勢・声の大きさ ・聞く時の心構え ・聞く時の姿勢 ・聞く時のメモの取り方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校で学んだ話し方・聞き方を想起させ、よりよい話し方・聞き方を考えさせる。 ・ 参考となるスピーチを準備しておきさらに中学生としての課題を明らかにする。 ・ よりよい話し方・聞き方を考えるにあたり、意見交換の場をつくる。 	関：話し合いに積極的に参加して、自分の意見を発表している。 〈発言・様相チェック〉
3	2 自由テーマ・課題テーマの両方で原稿を作り、スピーチの練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ よりよい話し方・聞き方を意識して、スピーチの練習をする。 ・ 互いのスピーチを聞く中で、それぞれの良かったところや課題などを出し合う。 	関：課題に沿ってスピーチをしようとする。 〈発言・様相チェック〉 話・聞：学んだことを生かしてスピーチをしている。 〈活動チェック〉
8	3 テーマを決めて、自分の考えをまとめ、スピーチする。 ・スピーチのテーマを各自考え、話の中心を決める。 ・構成を考える。 ・スピーチ原稿を考える。 ・推敲する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ設定にあたり、福岡市の弁論大会などを参考にし、様々なスピーチの例を紹介する。 ・ 3分のスピーチとし、文章の構成や書き方について、個々の生徒に、適宜にアドバイスをする。 ・ 推敲の学習では、生徒同士が原稿を交換し合い、語句や文法、言い回しについて意見交換する場をつくる。 	関：自分の考えを伝えるためのふさわしい話題を選ぼうとしている。 〈ワークシート分析〉 話・聞：自分の考えを理解してもらえるような原稿を作ることができる。 〈ワークシート分析〉
本時 (12 /17)	4 スピーチの練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習した話し方・聞き方を参考に、それぞれの話し方について、アドバイスをしあう。 	言：学んだことを生かして、話し方ができる。 〈活動チェック〉 〈ワークシート分析〉
3	5 スピーチする。 6 よりよい話し方を実践し、意見交換をする。		話・聞：よりよい話し方について実践することができる。 〈活動・様相チェック〉

3 本時 12 / 17時

(1) 本時の指導観

本時は、自分の考えを理解してもらえようようなスピーチの実践として位置づけている。これまでに、よりよい話し方・聞き方の学習もしており、このスピーチ練習を通して、話す内容だけでなく、その話し方にまで注意を促し、学習を進めていくことができる。

実際のスピーチ練習では、個々の学習活動にせず、グループでのアドバイスを通して互いに高め合う活動としたい。互いにスピーチを聞いてもらう中で、既習内容が想起され、それぞれの力として定着するものとする。

小学校との関連としては、これまで学習した内容を想起させることで生かされてきている。さらに、授業の中で意見交換し合う活動も、小学校の授業形態を意識したものである。

- (2) 主眼
- ・考えを理解してもらうための、よりよい話し方を考える。
 - ・話す速度や音量、言葉の調子や間のとり方について意識して話す。

- (3) 準備 ①各自のスピーチ原稿 ②ファイル ③ワークシート（話し方メモ）

(4) 過程

学習活動・内容	○手だてや留意点	◆〔観点〕評価 <評価方法>				
1 今までの学習から、学習課題を設定する。 よりよいスピーチができるようになろう。	○今までに学習したよりよい話し方・聞き方を想起させる。 ○本時のめあてを確認し、板書する。					
2 グループを作り、順番にスピーチを行い、それぞれにアドバイスをする。	◆〔関〕グループの人のスピーチに対して、学んだことを生かしたアドバイスをしようとする。 <活動様相・発言チェック、ワークシート分析>					
(1) 一人一人に評価する。	○Cの生徒への手だて ファイルを見直し、そこにある内容と、スピーチを照らし合わせ考えるよう指示する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○学んだ内容を踏まえた、適切なアドバイスができています。</td> <td>○学んだことを生かしたアドバイスができています。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	○学んだ内容を踏まえた、適切なアドバイスができています。	○学んだことを生かしたアドバイスができています。
A	B					
○学んだ内容を踏まえた、適切なアドバイスができています。	○学んだことを生かしたアドバイスができています。					
(2) 評価してもらったカードを各自もらい、それを参考に、自分の話し方を工夫する。	○◆〔言〕学んだことを生かして、話し方ができる。 ○Cの生徒への手だて 話し方の工夫ができるよう、スピーチ原稿とアドバイスのメモと照らし合わせるよう指示する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○グループ内でもらったアドバイスを参考に、よりよい話し方を考えることができる。</td> <td>○グループ内でもらったアドバイスを参考に、話し方を工夫しようとしている。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	○グループ内でもらったアドバイスを参考に、よりよい話し方を考えることができる。	○グループ内でもらったアドバイスを参考に、話し方を工夫しようとしている。
A	B					
○グループ内でもらったアドバイスを参考に、よりよい話し方を考えることができる。	○グループ内でもらったアドバイスを参考に、話し方を工夫しようとしている。					
3 工夫したスピーチを練習し、再度、グループ内で発表をし合い、改善されたところや、まだ工夫の足りないところを指摘し合う。	○話し方メモをグループ内で見せ合い、工夫するところを互いに確認させ合う。					
4 本時のまとめをする。 ・自己評価表、感想の記入						